

検証・評価・企画委員会コンテンツ分野会合(第3回)

議事要旨

- 【日 時】 平成30年2月16日(金)14:00～16:00
- 【場 所】 中央合同庁舎4号館 共用第1特別会議室
- 【委 員】 中村座長、石川委員、内山委員、大崎委員、川上委員、喜連川委員、重村委員、瀬尾委員、竹宮委員、野間委員、福井委員、堀委員、宮島委員、菅野委員代理、華頂委員代理
- 【参 考 人】 後藤代表理事(CODA)、埴崎事務局長(CODA)、森弁護士、木下准教授
- 【関係省庁】 総務省 豊嶋情報通信作品振興課長、大村消費者行政第二課長
経済産業省 山田コンテンツ産業課長、宮下模倣品対策室長
文化庁 奈良国際課長、小林著作権調査官
警察庁 佐々木生活経済対策管理官補佐、岩坂情報技術犯罪対策課補佐
財務省 加藤知的財産調査室長
- 【事 務 局】 住田局長、永山次長、川嶋次長、小野寺参事官、岸本参事官、北神企画官、渡邊参事官補佐、南参事官補佐

議事次第に沿って、(1)インターネット上の海賊版対策に関する論点整理について、参考人からの提案を含めた報告を踏まえ、質疑応答・意見交換を実施。主な意見は以下のとおり。(なお、(2)模倣品・海賊版対策についてのフォローアップについては、各省庁から、資料に基づいて取組みの現状等に係る報告があり、特段の質疑等はなし。)

- 委員から、サイトブロッキングに係る通信の秘密について、DNSブロッキングにおけるDNSサーバーとの通信においても該当するのか、との質問があった他、各コンテンツ業界における危機的ともいふべき被害状況、対策が極めて困難な侵害実態、法制化によらない迅速なサイトブロッキング導入の必要性に係る意見や緊急事態への対応という観点でスピード最優先の複合的かつ多角的な対策内容を決めていくべき、といった指摘があった。

(以上)